

平成26年第1回臨時会

建設水道常任委員会  
会 議 録

期日：平成26年1月31日（金）

場所：大曲庁舎 議会応接室

## 平成26年第1回大仙市議会臨時会会議録

日 時：平成26年1月31日（金曜日）午前10時13分～午前10時35分

会 場：大曲庁舎 議会応接室

### 出席委員（7人）

委員長	23番	千葉	健	副委員長	6番	佐藤	育男
委員	4番	佐藤	隆盛	委員	18番	小松	栄治
委員	19番	渡邊	秀俊	委員	22番	高橋	敏英
委員	25番	本間	輝男				

### 欠席委員（0人）

なし

### 説明のため出席した者

建設部長	田口隆志	<del>上下水道部長</del>	<del>小松春一</del>
道路河川課長	進藤孝雄	<del>水道課長</del>	<del>足達隆</del>
道路河川課参事	三浦龍市	<del>水道課参事</del>	<del>佐々木忍</del>
道路河川課参事	五十嵐直樹	<del>水道課参事</del>	<del>小西智</del>
<del>都市管理課長</del>	<del>井関由紀夫</del>	<del>次長兼下水道課長</del>	<del>岩谷友一郎</del>
<del>建築住宅課長</del>	<del>佐藤喜八郎</del>	神岡支所農林建設課長	石山 齊
<del>建築住宅課参事</del>	<del>朝田司</del>	西仙北支所農林建設課長	嵯峨 耕 咲
<del>次長兼土地画整理事務所長</del>	<del>山本伸夫</del>	中仙支所農林建設課長	阿部 利 美
<del>土地画整理事務所参事</del>	<del>進藤公夫</del>	協和支所農林建設課長	田中 盛 耕
<del>土地画整理事務所参事</del>	<del>吉野一利</del>	南外支所農林建設課長	伊藤 誠 一
		仙北支所農林建設課長	須田 和 久
		太田支所農林建設課長	佐藤 朗

### 議会事務局職員出席者

主 幹 堀江孝明

審査議案等

議案第 1 号 平成 2 5 年度大仙市一般会計補正予算 (第 6 号)

---

午前10時13分 開 会

○委員長（千葉 健） おはようございます、委員の皆さん揃いましたので、早速委員会を始めたいと思います。当委員会に付託された事件について、別紙の日程表のとおり審査いたしますので、よろしくお願いいたします。なお、正確な会議録作成のため、発言をする際は、委員長の許可を得た後、マイクのスイッチを入れてからよろしくお願いいたします。

審査に入る前に、当局から挨拶がありましたら、よろしくお願いいたします。建設部長の方からありますか。はい、お願いします。

○建設部長（田口隆志） 改めまして、どうもおはようございます。建設水道常任委員の皆様には、お忙しい中、常任委員会を開催いただき、お礼申し上げます。

さて、ご案内のとおり4年続きの豪雪となっております、ここ数日の寒の戻りで、積雪が大分おちつき、混乱していた道路除雪も、なんとか一息ついた状況でございます。1月17日現在での集計でございますけれども、除雪出動回数では8地域合わせ平均回数で、昨年と同数の28回となっております。機会除雪などの委託料の執行率は72.8%まで達しております。予算不足が確実に予想されている現状でございます。今後2月の寒波の襲来を控え、迅速な対応に対する市民サービスの確保を図るため、除雪対策費の補正をお願いするものでございます。また、雪解けと共に道路の損傷が目立つようになり、場合によっては事故に繋がることが予想されることから早急な対応や予防の措置を講じるため、平成26年度における道路維持管理費を前倒しで執行できるよう併せて、債務負担行為の設定をお願いするものでございます。以上、詳しい内容につきましては、担当課長よりご説明申し上げますので、よろしくご審議のうえ、ご承認賜りますようお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○委員長（千葉 健） はい、ありがとうございます。それでは、早速、審査に入ります。議案第1号平成25年度大仙市一般会計補正予算を議題といたします。

当局より説明を求めます、進藤道路河川課長お願いします。

○道路河川課長（進藤孝雄） 議案第1号平成25年度大仙市一般会計補正予算（第6号）の内、道路河川課所管分につきまして、ご説明申し上げます。

補正予算書の8ページ、事業説明書は、1ページをお開き願います。始めに除雪対策費の補正をお願いするものであります。今回の補正予算につきましては、現在までの降雪量及び積雪深とも、豪雪でありました昨年並のような状況であり、1月

17日現在の早朝一斉除雪出動回数は各地域平均で18回、除排雪業務委託に係る予算の執行率は80%を超えております。今後の降雪や、排雪作業の回数も増えることが予測される為、委託料や使用料が不足することが見込まれること、また、きめ細かな除排雪体制の充実を図り、市民生活の安全・安心な除雪体制構築のため、除雪対策費の増額補正をお願いするものであります。その内訳であります。8款2項2目12事業除雪対策費は、4億円の増額補正をお願いし、補正後の額を13億1,843万円とするものであります。その主な内容であります。13節委託料2億9,229万円につきましては、早朝除雪の委託費、及び排雪の委託費など、除排雪作業業務委託料に要する経費であります。14節使用料及び賃借料1億771万円につきましては、排雪作業時等に使用する重機等の借上げ料に要する経費であります。

お手元にお配りしております資料、「道路ー1」に、各地域の予算内訳や執行状況、除雪出動回数等を記載しております。前後して恐縮でございますが、資料5ページをお開き願います。補正予算内訳であります。表上段が全体の補正前予算額9億1,843万円に対しまして1月17日現在の執行額6億3,125万8千円であり、予算残額は2億8,717万2千円であります。今回の補正額は4億円であり、うち委託料が2億9,229万円、使用料が1億771万円であり補正後の全体予算額が13億1,843万円であります。中段以降には各地域の予算額や執行額及び要望額を、また参考に右下には一斉除雪1時間あたりの稼働費を記載しております。また、6ページにも1月17日現在の除雪対策費全体と、補正をお願いしております委託料と使用料の執行状況を、7ページは今年度の降雪量・積雪深・除雪出動回数等を記載しております。初雪が11月11日、日最大降雪量は大曲地域で1月11日に55cm、最大積雪深は南外地域で1月16日に165cm、この表には記載されてございませんが、1月23日には175cmが観測されており、特に大曲・南外・仙北地域は昨年同期に比べ30cmから40cm程多くなっております。他に降雪量・降雪日数・除雪回数や排雪日数を、また、8・9ページには豪雪年度との比較として、平成17年度及び24年度と今年度の積雪深の推移を各地域ごとにグラフにて記載しておりますので、ご参照願います。

次に道路維持管理費の債務負担行為補正をお願いするものであります。

補正予算書は9ページ、事業説明書は、2ページをお開き願います。今回の追加補正は、道路維持管理費につきまして、期間を平成26年度、限度額2千万円において、融雪期における道路損傷箇所が例年より多くなることが想定されます。今回

はその道路補修を速やかに実施するため、平成26年度に予定している市単独の道路維持工事及び修繕料の内、舗装欠損部や構造物の補修を前倒しで発注するため、債務負担行為補正をお願いするものであります。今回の臨時議会でも道路陥没による事故について1件ご報告しておりますが、更に現在示談を進めている1件を含めまして、平成25年度におきましても前年同様4件の道路に開いた穴によるタイヤ損傷事故が発生しており、通行者の方々にはご迷惑をおかけしており、大変申し訳ございませんでした。冬期間においても、晴天時には穴埋め作業を除雪作業と平行して行っておりますが、本格的な雪解け時の路面状況を考慮した場合、いちはやい対策が必要と考えており、今回の債務負担行為とさせていただくものであります。

お手元にお配りしております資料、「道路-1」に、各地域の事業概要、及び確定している地域につきましては、路線毎の位置図等を記載しております。資料1ページ目をお開き願います。主な内容であります。大曲地域につきましては、大嶋野1号線のオーバーレイ工事延長100mと、丸子川を境に2工区に分け舗装合材による欠損箇所の補修をするものであります。神岡地域につきましては、坊ヶ沢堂の後6号線のオーバーレイ工事延長56mと、舗装欠損部の修繕を、西仙北・中仙・協和・南外地域は工区分けなどをしながら舗装合材による欠損箇所の補修を、仙北地域は欠損部の修繕を、太田地域につきましては、胡桃台天神堂線のオーバーレイ工事延長110mと舗装修繕をするものであります。資料2ページから4ページには箇所が確定しております路線について、位置図と現況写真を添付しておりますのでご参照願います。

以上、議案第1号平成25年度大仙市一般会計補正予算（第6号）の内、道路河川課所管分につきまして、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。以上です。

○委員長（千葉 健） 当局の説明が終了しました、これより質疑を行います、質疑のある方はお願いいたします。ございませんか、はい、本間委員。

○委員（本間輝男） ちょっとお聞きします、あのこの債務負担行為について、どうのこうの申し上げるつもりはありませんが、この債務負担行為そのものというよりは、あの26年度予算を前倒ししてやるということなんだけれども、これは財政課から何か指導とかあったんしか。というのは、あの債務負担行為で、ま26年度分を先食いするというかたちでとるわけけれども、やり方とすれば継続費もあり得ると、たとえば25年に予算をきちっと定めておいて、3月末に継続を認めてもらって、それで越していくというやり方もあるわけですが、そういう流れの中で前年度

分を食うということは、次年度において、大変ま予算的には、また苦しくなっていくと、とうい同じような繰り返しがありうるわけだし、そこら辺の検討は財政課とかなりしたしか。

○**道路河川課長（進藤孝雄）** 財政との協議してございますけども、ま平成25年度、今の予算残額から考えて継続を組むだけの予算の残額はございません。でこれだけの豪雪であります、除雪車それから消融雪材の散布状況により、道路はかなり疲弊していくものと思われま。それによって今できる範囲というのは、あの26年度の予算を先食いして、前倒ししながら道路補修していくと、今後、道路維持については非常に力を入れていかなければならない物件でございますので、26年度の前倒し、ようするに通常分を食うだけではなくて、今後、維持費の強化ということで、補正をお願いしながら進めていくというような形にさせてもらってございます。

○**委員（本間輝男）** やり方としてはすごく、私ありがたいと思っています、あの旧町村の担当者にとっては、課長もそうだと思うんだけど、非常にお金が、新年度当初使うお金が無くて非常にやり繰りに大変だということで、ま課長にしてみれば、やっぱりそういう事例を自分で感じたから、こういう予算編成にして、やはりあの支所単位にしてやろうということに対して、私大賛成です。非常にこれはありがたいことだと思ってます、ただ私自身考えるのは、やはりあの予算の組み方として、やはり相当のやっぱり道路維持費というのは、掛かるんだと言うことをやっぱりきちっと当局に、あんた方も強く言って、もっと予算要求するべきだと私は思ってます。でないとなあ今特交の部分で、特別交付税で4億円出すんだけど、実際特交の部分ていうのは10億ぐれ来るんだしよな、はっきり言って、もう6億ぐれが出るんだし、はっきり言ってな、だから予算からいってこれ余裕有る予算なんだよ、俺さ言わせれば、まだ6億ぐれ残ってるんだよ、財政当局としては、それを次の年の繰越財源するどって、こういうふうにするんだしよ、そこはあんださ言ってもできねんだけど、いずれあの部長、これあの道路維持管理費に関しては、相当やっぱり強く申し入れして、道路維持に関して、やっぱり増額するような形で予算要求してください。それに対して答弁求めます。

○**建設部長（田口隆志）** いずれあの道路維持つうのはやっぱり、どこも他は、大仙市だけでなく、皆力を入れだした部門であります、当然あの我々も先食いしたから後、この先26年度せば少なくなるとかではなくて、必要あれば随時やっぱり補正をお願いして、維持部門ていうのはやっぱり、こう強くしていかなければならないと感じておりますので、これやっぱり状況見て、必要であれば、随時補正をお願い

しながら、進めて参りたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

○委員（本間輝男） あの最後になります、ま、そのとおりです。なんとかひとつ今予算の査定の時期ですので、あの道路に関しては、市民の方々、非常にやっぱり関心が高い事項ですので、予算要求に関して強くやっぱり働きかけることを、お願いしまして終わります。

○委員長（千葉 健） はい、小松委員。

○委員（小松栄治） 要望つうかお願い2つ程ですけども、ひとつはこの道路維持の補修関係で、このとおり冬期間であるし、いろんな理由で道路が欠損して、そして春に補修する、それはしょうがねべ、でそのためにも、前年度の11月くらいか12月の中頃まで道路の状況を、まあの点検していただいて、そうすれば補修箇所が小さければ、冬の期間に、こんだあの水溜まったり、（聞き取り不能）だったり、また春になると、そういうもの重なって、穴ぼこ大きくなるしな、そういうのがなくなるということもありますので、出来たならば翌年の10月から11月、12月中頃まで、それをやっていただければなど、2つ目のことですけども、除雪で大変苦勞かけておりますし、職員たちにも難儀されております、で積雪の場所は平野部と山間部とは大いに違いがあるわけなんですけども、それでもまずあのいろんな事情によって、毎年その場所が、積雪の場所が分かるす、例えば我々の西仙地区では、大沢郷の方では、山間部であるし、大変積雪も多くなるし、刈和野地区は少ないと、ま大沢郷でも宿関係が少ないけども、（聞き取り不能）の方については多いと、こんな状況がありますので、それをグラフ等どかの前もって計画さ入れておいて、毎年の積み重ねあるわけしな、そうすればたとえばあの今日降らなくても、各地区の方から今日降ったから来てくれと要望があるなし、それに対処するために、たとえばあの土川でも大沢郷でも全部行かなくても、その部分だけ行ってくださるようになるので、ということはあの、積雪量の感知するそれが、そのあたりでは無いわけすな、一箇所なら一箇所しか無いもんだから、やっぱり向こうの方では分からないわけすよ、そういったことがあるので、できたならばそういったあの、統計をとっていただければ、ありがたいもんだなということで要望したいと思います。以上です。

○委員長（千葉 健） 要望に対して、意見ありますか。はい。

○道路河川課長（進藤孝雄） まずあの、道路の破損状況ですけどもあの、11月頃確認しておく、できればその時点で対応するのが一番ベストだと思います、これについては今後もあの、検討して参りたいと思います。それからあの西仙北地域



につきましては、積雪センサーが一箇所しかございません、それによって除雪出動については、その一箇所の積雪センサーに基づいて、全地域が出るというような状況であります、ちなみに、私は郡部出身で協和出身なんですけども、協和については、4分割されて出動命令を出してございます、ですので山間部、それから雄和側の平野部、そちらの方でメールが鳴ったり、こちらは鳴る、こちらは鳴らないという状況がありますので、その点、もう少し細やかな積雪センサーを細分化することによって、そういう住民対応は可能かと思っておりますので、これは今後検討して参りたいと思っております。

○委員長（千葉 健） これでいいすな。ほかに、質疑ございませんか。はい、高橋委員。

○委員（高橋敏英） 事業説明書の2ページ、市民の要望、苦情、4番、枠の4番な、市民の要望、苦情に迅速に対応してきたところであるって書いてますけども、せば、今までの苦情で残ってる案件は、なんもねことだし、あるとしたら全部出してください。大仙市内、それは後でいいから資料として、苦情で残ってる箇所が、あったとしたら。

○道路河川課長（進藤孝雄） あの、まだ手つかない部分ていう意味。

○委員（高橋敏英） そうそう、全部だしてください、せばほら来年度予算に対しての予算要求もあるべがら、で部長も替わることだし、前の部長がやったとか、やねどかって話しなればまずいから、なし、全部出してください。そいで、それから考えるから全部、なし、資料として委員会さ提出してければいい、今まで要望されたどこ、なし、せば聞いてねがった、聞いてねがったどかてねしべ。

○道路河川課長（進藤孝雄） 大小問わずということ。

○委員（高橋敏英） そうです、すべて。

○委員長（千葉 健） それあれだし、あのこの次の委員会の時でいいすべ。

○委員（高橋敏英） んだんだ、んだしそれでえし。新年度予算始まるべがら。それで対応できるかどうか、予算審議します。

○委員長（千葉 健） 課長、その要望については建設委員会始まる時、定例のときでえしから。ほかに、質疑ございませんか。はい、佐藤委員。

○委員（佐藤育男） 私あのこの維持管理費についてはあの、異議ありませんけど、意見というかちょっと、お話しさせていただきたいと思っておりますが、道路の写真等みれば、かなり亀裂入っているようです、これあの凍上というか、における亀裂かなと思っておりますが、あの道路の凍上災とかてありますが、そっちの方の事業を活用、災

害事業といたしますか、活用して整備すれば、まずこの穴空いたり、事故なりというのも少なくなると思いで、そういう災害も積極的に活用するといったようなことも考えていったらと思います。

○道路河川課長（進藤孝雄） ご指摘のとおりあの、こういう場合は凍上災という方法がひとつございますけども、それは昨年度、凍上災の該当された年でございますけれども、今年度につきましては、凍上災の指令がまだ来てございません、それをもって始めてその事業が出来るわけでございますので、それは国と連携を取りながら、該当するものであれば凍上災の方に持っていくというような形にしたいと思います。

○委員長（千葉 健） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（千葉 健） はい、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（千葉 健） 討論なしと認めます。これより採決いたします。

本件は、原案のとおり可決することに、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（千葉 健） 異議なしと認め、本件は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長（千葉 健） 以上で、当委員会に審査付託となりました事件の審査は、すべて終了いたしました。

なお、本委員会の審査報告書及び委員長報告の案文につきましては、委員長にご一任願いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（千葉 健） 異議なしと認め、そのように決しました。

これで、建設水道委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

---

午前10時35分 閉 会

大仙市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

大仙市議会 建設水道常任委員会委員長 千 葉 健